

(平成 30 年 7 月 10 日集計)

I. 概況

内閣府が 6 月 19 日に公表した月例経済報告で、「景気は、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」としている。

一方県内中小企業では、前月比で DI 値・景況は横ばいであったが前年同月比では悪化した。原材料・原油価格の高騰、人手不足に加え、大阪北部地震の影響を懸念する声も多く聴かれるなど、県内中小企業の経営環境は、依然として厳しい状況が続いている。

II. 業種別状況等

<製造業>

① 食料品

6 月昨対 90%の推移であった。昨年の 6 月は過去最高の出荷数で今年は平年並であった。原材料等の値上げ発表もあり来年度の販売価格の課題が山積している状況です。

② 木材・木製品

そろばんは在庫の時期になってきますので、今後の生産計画を検討しなければならない。

③ 鉄鋼・金属

全般的に売上が伸びており、収益状況も好転している。さらに仕事量、単価も前年より増加しており、引続き上昇することを期待する組合員も多い。

④ 一般機器

標準機器の受注は横ばいではあるが好調に推移している。またプラント品の引合いも引続き好調であり、工場の稼働率が高い状態が続いており仕掛在庫も増加傾向である。大阪北部地震の影響で納入先で状況確認のため工事ストップによる納期遅延の影響が一部出ている。

⑤ 一般機器

売上は増加しつつあるが、利益率は好転しないという組合員の状況である。

⑥ その他

売上高は前月比-5.5%、前年同月比では-8.2%。部門別の対前月比で船舶部門及びプラント・環境部門の売上げが増加したものの、トータルでは減収となっており、下半期には改善が見込めるのか心配している。

<非製造業>

⑦ 卸売業

全体市場良くありませんが、徐々に良くなるものと予想しています。梅雨明け後売れ行きに期待しています。日売りが良くありません。目標予算達成の為、各社努力中。

⑧ 小売業

ますます売上は減少を続けている。原因を解明しなくては対策が出て来ない状況である。

⑨ 商店街

前半来街者が多く売上もまとまったが、後半の地震の影響にて、急激に下落した。

⑩ サービス業

6月は年間通じて最も閑散期にあたり、観光客数の入込み数も減少。5月GW後から6月中に阪神方面へのPR活動も積極的に行う必要があると考えます。夏休み返は我慢するしかないのでしょうか。夏期限定メニュー開発にも取り組むべきと考えます。

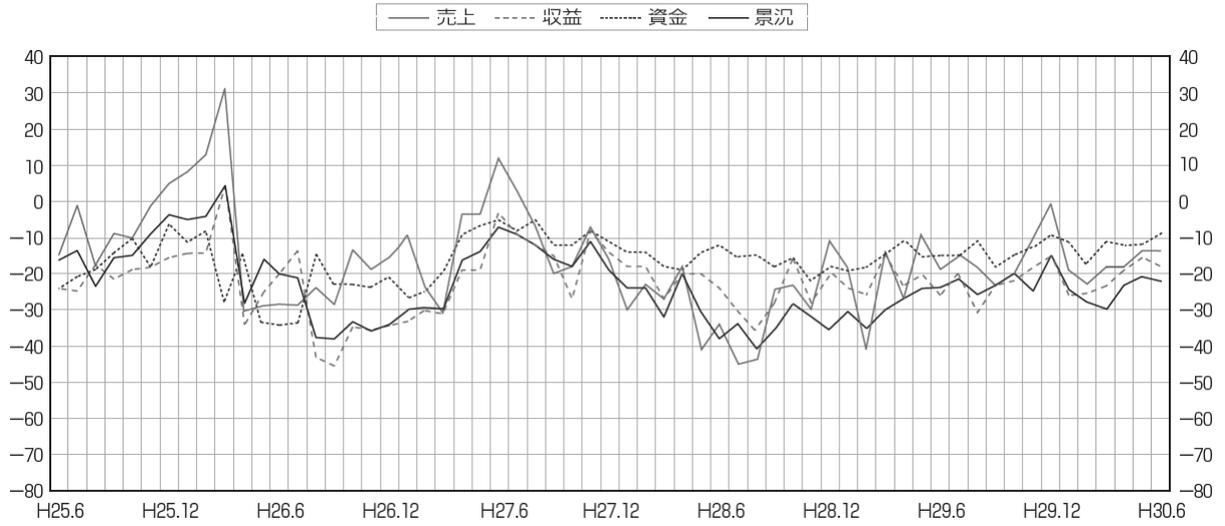
⑪ 建設業

壁装関係を中心として職人不足の状況が続いています。

⑫ 運輸業

今月も軽油価格の上昇は止まらず、運送業者の経営は非常に厳しいものになっている。貨物量も前月同様、低水準で推移し、会員より止まっているトラックの話題をよく耳にした。暇な分、ドライバー不足の混乱はなかったが、宅配等小口貨物を扱っている運送業者を除けば、景況感の悪化は著しい。

景気動向（前年同月比）の推移（D I 図）



業種 \ 項目	景況	売上	収益	資金
製造業	 -22%	 -11%	 -14%	 -3%
非製造業	 -22%	 -16%	 -22%	 -16%
総合	 -22%	 -14%	 -18%	 -9%

製 造 業				
業種 \ 項目	景況	売上	収益	資金
食料品				
繊維・同製品				
木材・木製品				
紙・紙加工品				
出版・印刷				
化学・ゴム				
窯業・土石製品				
鉄鋼・金属				
一般機器				
電気機器				
輸送用機器				
製造業その他				

非 製 造 業				
業種 \ 項目	景況	売上	収益	資金
卸売業				
小売業				
商店街				
サービス業				
建設業				
運輸業				
その他				

【凡例】



快晴

基準(DI値)

30以上



晴れ

10以上～30未満



曇り

-10以上～10未満



雨

-30以上～-10未満



大雨

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：事業部 情報企画課

TEL：078-331-2045

【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月20日頃に公表しています。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>